夕刊
磐城新聞
六月二十日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇一六五五八番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 南の風晴
明日 同じ

歌の本質に就て

山本生

われ〳〵は歌の本質といふものをあくまで考察しなければならない。人によつて與へられたものでは歌目た。人によつて與へられたものは。また人によつて務これを日を思はなくてはならない。自分が得たものを永遠に自分のものであら・さうして自分の本質が確立したときに個性發特殊を總じて普遍を參せこする藝術第一課に入門するのであらう。自分で自分の道を拓かなくてはないあなたまかせに歌壇波に乘つて、たゞよつてゐやうでは、何百人そんな歌人があつたつて、ほんとうはたつた一人でよいのだたつた一人の代作にすぎないのだ。千遍一律、煩雜、讀むに堪へずとは決して過去の歌集をのみ評する言葉ではあるまい。歌誌一冊を手にして初めから終りまで讀み通せる努力家が現代歌人の幾ばあせんとあらうか本當のものならいくらあつたつていゝのだ。立派な文化財なのだ。もつともつとわれわれも他のすぐれた現代の歌人がさうであるが如く、實に、われわれもだほんとうのものを自分で生みたい。今のわれわれにはそれはできない。またわからない。かもしれない。だからといつて考察し精進することを怠るといふことが、許されるわけであるまい、

□

今後の歌壇も若いものによつて發展しなくてはならないとよく先生は言はれる今こそ本當の藝術の榮はる時だといつも言はれる。新しいものがいかにして生れるか、しづかに歷史をかへりみなくてはならない。先輩の業蹟 敬意を捧げなくてはならない。なことを前後に配らなくてはならない。らいさくまづしいわ〳〵ら、いつまでもあゝと思ふな親と金とか、やがて一人わるきをしなくてはならない日にそなへて、本道を歩み出したいものだ。

湯本短歌會詠草（十）

御詠題『紙』

○もの足りてけふはゆとりのある日なり、眞向き紙を机に据うる　鈴木 清一

○爭ひ合ふ第一線の新聞紙、記事は内地の便りをのせて　同

○幼な子は紙を千切りて飛ばし居り、新綠の野を我が汽車はゆく　五十嵐 絹江

○千切りたる紙が飛ばしく手を叩く子の瞳に映ゆる窓の新綠　同

○一片の紙にあふるゝ友情を、たよりてここに馳せ參じたる　吉川 もと子

春日風強

詠 小野勝平

桃江李白入春和
人想嬉游鳥想歇
何事朝來勁風急
落花浪籍不勝多

6月21日

△平宗盛斬らる（文治元）△林子平歿す（寛政五）△星亨刺さる（明治三四）△議會制度審議會初總會（昭和一三）

その日く

○新しい鷄舍の聲に口あいて、あつさをしのぐ若雛の群　武之輔

講談 恩讐無道（131）

久我莊多郎　香川三十代畫

旅人の巻　南京花火（二十二）

『な、なにッ！』

庄太郎の訴へるところを聞いては、さすがに、惣介もギヨッとした。

『何といふ？』

と、詰め寄つて、場所柄を忘れたものゝやうに、思はず知らず、庄太郎の肩先をつかんだ。

『い、痛てえ』

庄太郎は、顏をしかめた。

『そんなに、旦那——。いゝわ、ねえ。あつしは、つい今の先、すこし旦那にお話し申してえことがあつたもんですから、お宅へまゐつたんでムんす。するとお茅江さまが御心配なすつてゐます樣子を伺ふと、お隣のお香代さんがどこへ行つたものか、かいくれ知れねえといふぢやごさんせんか』

『ふむ。しかし……』

狼狽してゐるおのれに氣が付いて、心を落ちつけた惣介は、

『わたしが家を出る時に、そんな話はなかつたが……』

『さあ、そこですよ』

と庄太郎、額に吹き出てゐる汗を、着物の袖口でぬぐひながら。

『旦那がお出かけなすつた後で、お隣でしきりとお香代さんを呼んでゐなさる聲を聞いたもんだから、不審に思つてお茅江さまが行つてみなさるッてえと、夕刻使ひの者と出かけたまゝ歸つて來ない樣子だツてんでさ。なんにしても大變だから……』

『その使ひの者といふのは？』

『なんでも、近所のお姿さんださうで……。いつでも仕立物を、お香代さんに賴む家だといふから、そこは扱ひ良なく、あッしはすぐに行つてみました。でも、留守でござんした。表戸がかたく閉つてゐて、近所で聞くと橫濱の旦那が昨日から來てゐて、今朝は一緒に出て行つたッていひます。旦那てッきりこいつあ、誘拐しさすぜ』

『さうか』

これ以上、庄太郎の說明を待つ必要はない。

惣介は、不機嫌に目を光らしてゐる種島を見返つて

『閣下。お聞きの通りの次第でございます。御無禮ながら、心が急ぎます。今夜はこのまゝ……』

『歸るのか？』

種島の心中は、おだやかでない。折角の話に邪魔がはいつたのだから、またしても、險相な聲になるが、事情を知つてみれば、引止めることは出來ないから。

『……いまの話、承知し……？』

……太隊がかあつて迅

惣介は、

『歸りまして茅江に、申傳へます』

と答へて、一禮すると庄太郎を促した。

『といふのは、承知なのだな？』

と、種島が念を押した時には、もう惣介の姿はそこになかつた。

『ちいッ』

舌打ちして、グラスになみ〳〵とウイスキーをつぐと、グッとあふる種島である。

『まアいゝ。あれまでに話しを置けば、あとは、一押だ。ふゝゥ』

さう呟いて、ち江の美しい姿を心に描いて、惰心が闇・好きな痴蝶を舞はして、種島と知らず、惣介は庄太郎と一ツになつて更けた夜道を一散に驅けた。

長谷川にはいると、わが家へは歸らずに、愼吾の家へ飛込んだ

『おゝ、深見君』

『兄ッさま』

ち江は裏之助を抱いて愼吾の不安げに呻いてゐる愼吾の病床の傍らに坐つてゐたが、惣介の姿を見ると、ち江も愼吾も驚ご擧げた。

『難波君。大變なことが出來たといふなあ。しかし君は知らずにゐたのか？』

『使ひの來たのは知つてゐたがどんな奴か見なかつた男の聲だつた。そして、香代がすぐ歸るといつて出たことも、知つてゐた。が、それからは、いつの間にかウトウトしてゐたのだ。こんど氣が付くと、まだ香代は歸つてゐないのだ』

『ふウむ』

ほの暗い灯りを、小虫の翼があふつてゐるらしく、ヂ、ヂイと鳴つて明暗のかげが濃い。

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市
電話平四六〇番
一度お試し乞ふ
勉强振り
一變せる、せひ
營業種目
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田產杉四分板
建具材・便利瓦
◎小店員募集
年齡十五歲ヨリ廿歲迄

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◇堅實な營業方針のサロンのお客様は當地一流の方々です
◇色々の方に接することが社交儀禮を實際に學び成功の糸口ともなります
見習婦人
調理
◆評定あるサロンの調理法を御傳授します
◆見習ひとし調理場に御勤務出來る婦人に限る
◆14歲以上30歲迄の健康な方
◆3年以上勤續出來る方
◆親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
サロン
電話 5 2 9

移轉廣告
今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地（警察署通り角）
（舊診療所 平市六丁目）
外科一般
內臟外科
性病科
肛門病科
木村外科醫院
木村 淳
電話 三〇九話
◎入院應需

晝夜診療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査每日
◎入院隨時
平市新川町〔電話四六四〕
醫學博士 北川 芳夫

住宅地分讓
都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪
金より物の時代
「安全の土地」
市內の住宅難は近來各方面の膨脹發展に伴ひ其の深刻を加へ、往々他の大都市を凌ぐ家賃高は他から轉入の勸め入なとをして常に悲鳴を擧げさせてゐる狀態で比較的永住性のある向では借地の上住宅の新築を計畫するものも少くないが、それすら不便なる舊城址その他邀北方面を除いては差し當り恰好の場所が無く、當今の貸家貸地拂底はまさに市の一の社會問題と目されてゐる折柄、金成上院議員所有の市內第三小學校東北方正月町地內埋立約二萬坪を。大小各種の希望に應じ夫々分讓する事となつたが同地は都心に近き宏濶な市の南郊で時節柄希望者も相當多數あることなるべく詳細は田町一九（電話七八七番）蓮沼方へ問合せられ度いと
大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市內田町一九蓮沼方
〔電話七八七番〕へ御問合せ下さい

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油
たひら正宗
鰹節 食料品
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

家傳 ゆでくすり
登錄商標 良藥 ムテキ
一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切傷洗滌ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどく
やけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス藥ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお惱みの方に御試し下さい
製劑本舖 宮城縣 ムテキ商會
代理店 阿康藥局
平市古鍛治町十番地（縣社下）
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

洋服課税早わかり 定價金三十錢
大藏省主税局事務官 脇阪實序
日本洋服新聞社長 馬目長雄著
本書は今回政府が施行した支那事變特別税法の內新に洋服業者に課された税法の『早わかり』を主眼としたものでその內容は衆議院の税委員會の討議に主材し更に大藏省主税局長大矢半次郎氏・主税局國税課永見周藏氏等の手に依り原稿の推敲されたものであります。かくて政府の遂行せんとする意圖が完全に表現されたものと信ず
發行所 東京芝四國町五 日本洋服新聞社
取次所 合資會社 石島商會 平市白銀町一〇

磐城の御みやげ品
名物 靈峰羊かん（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
製造發賣元 小川郷驛前
平屋賣店

磐女でも集團勤勞
校内外、神社、公園の淸掃作業や　配給あれば白衣縫製

磐中・磐商の夏休み中に於ける集團勤勞は大体昨報の通りであるが縣立磐女でも來月二十一日の休暇入り早々昨夏同樣一、二年生は三日間、三四年生は五日間に亘り子鍬倉、飯野八幡兩縣社境内、松ヶ岡公園忠魂碑附近の淸掃、校庭や花壇の整理梅園の手入れをなす外、時折精神講話を試み尙は以上期間後も其筋から配給あつた場合の白衣縫製をはじめ各自持ち寄りの栽縫或は洗濯等專ら家庭の手助となる諸作業を行はしむる事になつてゐるが將來すべき事項としては現在の庭園をして更に一段の趣あらしむる爲め適當の日を見て好間川に出動、神斧鬼鑿の◯石を蒐集運搬して園内に配置するなど尊き汗の体驗によつて長期戰下に於ける新進女性の精勤に資する筈であるが、潑剌たる千名近くの全校生徒が日灼けも厭はず眞夏の烈日に曝され純白の作業衣姿甲斐／＼しく立働くこの勤勞訓練は見るからに賴もしく軍國風景たるを失ふまいとの事である

永久に輝く武勳
論功行賞地方關係者

昨十九日發表された論功行賞の内地方の一般關係者氏名左の通り

功七旭八　歩上　高久　村上高男
鹿島　橋本岩夫
渡邊　江尻一
旭八　內郷　廣井孝三
功六旭七　砲軍　好間　星正富
旭八　輜上　四倉　渡邊二郎
功七旭八　伍　神谷　齊藤長次
同　歩上　入遠野　上遠野小平
上遠野　上遠野一郎
夏井　大友通雄
植田　豐田藤次
同　砲上　赤井　鈴木正三
同　歩上　小名濱　佐々木德太郎
草野　渡邊官
好間　鈴木秀雄
磐崎　東海林耶
同　伊東義晴
同　大井川利隆
夏井　宗形三郎

散華二勇士
昨日原隊發表

吉田部隊の地方出身左記二勇士は大洪山の殲滅戰で名譽の戰死を遂げた旨十九日原隊から發表あつた

鹿島村　上等兵　鈴木徹郎君(二三)
大工で實家には母ときさん(五二)一人で實兄の育郎君(三〇)も出征中

豐間村　伍長　永山久次君(三二)
漁業を營んでゐた、留守宅には母うらさん(六七)兄休氏(四六)弟久雄君(一五)末廣さん(二三)從軍中の海軍兵政隆君(二六)がある

高等小學へ進む遺兒に親ごころ
縣で育英助成範圍擴充

前線に散華した勇士の遺兒に對する育英事業は今年度に於てはこれを高等小學校就學の遺兒にまで擴充し昨年度同樣これが學資を補給することゝなつた旨其筋から縣の通牒に基き市では左記要項並にさきに示達された傷痍軍人子弟の育英事業について學校長其他關係各方面と連絡萬全を期することゝなつた

一、補給金額は必要なる限度に於て一人につき年額三十八圓以内たること
一、遺兒に準ずべき者には戰歿者により事實上扶養及育英を受け居りたる弟妹を含め差支へなきこと

陣中を聽く
(418)

トーチカを眺めて先輩の苦勞を念ふ
田町出身　佐藤正雄君(通信)

(第二報)政雄はいつも元氣です。未だ船中に居ります○○に行く途中の河岸は皆トーチカであります。如何に先發戰友が奮戰したかゞ偲はれます。支那に山の少いのには驚きますが、山々は總てトーチカで船中からも良く見えます。○○に近づく頃から迚も暖かで支那民家の附近の田畑には菜の花が咲き乱れ、麥の穗が出て居ります○○には日本軍が警備して居ります。支那の船は皆日の丸の旗を船につけて居り○○は平和になつて居る樣です。

支那人の子供は物珍らしさうに吾々を見て船が通ります。遠くに城が見えます月が皎々として居ります。

もう午後十一時頃です。我が軍は皆高粱で寢て居ります。小生も眠ります。では皆々樣もおやすみなさい

建設に突進
元入山從業員　山崎一男君

(承前)又漢陽には五百羅漢の像あり我々は今新に學校時代に敎育された地理歷史を追想し記憶を新にす。

又支那は柳の多い處である揚子江の河岸は至る處柳がある此の酷暑に柳の木の下は涼しい風が吹き通つて行くのでとてもよい會社工場學校すべての家々には防空壕のない家はないくらゐだ蔣介石がいかに抗日的日本の空爆をオソれて居るかゞ一見して認識出來る又幾年前から此の作業をしたかおそらく何十年も前からの計畫らしい。

支那民衆も今では皇軍の溫かき力によつて平和なめざめを起して來た我々は良民を愛し惡きを撃ち東亞千年の建設に突進致し居ります。

法人稅務研究會役員

石城法人稅務研究會役員左の如く決定
△會長川鍋稅務署長△副會長鹽屋山崎合名、平井直稅課長△幹事小林法人事務主任、諸橋合名、片倉磐城製糸、磐城建物、色川木材、常磐毎日、阿部石炭、高橋商會、野崎自動車、松吉屋、鈴木材木、四倉運送、萬年瓦、馬目合名、湯本信用無盡、植田水電、磐東銀行、中村採炭、磐崎水產、岡崎屋、磯上鐵工所

小神野氏榮轉

讀賣新聞平通信部主任小神野不二男氏は今般仙台支局に榮轉、二十五日午前十一時七分發で赴任する、後任は福島支局坂浦作氏、二十三日着任

縣補助工事決る

勿來町では縣補助九百圓を得、工費千八百圓で側溝工事を行ふ又永戶村では千五百圓(同補助五百圓)で道路改修を行ふ

農家悲鳴を揚ぐ
少し遲れる丈けだが　一部では雨乞ひ騷ぎ

入梅以來既に十日近く月餘に亘る照り續きに地方の河川は底を日乾しの狀態にある地方は挿秧最盛を控へて灌漑水路のある一部を除いて極度の水不足を來し弱り切つてゐるが殊に三坂、澤渡、川前、田人などの山間部落は田がガラ／＼に乾燥され何時植付出來るか懸念出來ず一方苗には害虫が發生これが驅除に相當の苦心をなしてゐるので全く悲鳴をあげて居り雨乞ひについては各部落で寄々協議中であるが測候所の打診では毎年曆通りに降ると決つたものではなく多少遲い早いはある、目下のところ次第に入梅模樣に向つて近づいて居るので少し今年は遲れるけれども決して天候異變ではないとキッパリ太鼓判　暑いのは氣壓の關係で入梅前は毎年この位の暑さが一寸續くものだとの御托宣である

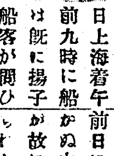
博徒の餘罪

既報、去る十六日乾兒八名と共に賭博開張中植田署に擧げられた大日本炭礦坑夫前科二犯正木森之助(四二)は取調べの結果去月中同僚山田光男から弟が應召出發するとと偽りセルの羽織と着物を借りたまゝこれを入質した外橫領一件自白

第四校田植祭

平市第四小學校學校田の田植祭は今二十日午前八時から執行、青沼市長(增田課長代理)の豐饒祝詞後先生や生徒ら代表で賑かに約二反歩の田植ゑを濟ませた

上海から(一)
航空便にて　野崎滿藏



拜啓、十一日上海着午前九時に船は既に揚子江に入りしや、船客が聞ひしにボーイは今朝の四時頃から既に揚子江に入りしとの答へ。船窓より見れば濁流にて約一時間後にかすかに岸が見へ午後四時埠頭に着新亞細亞ホテルに投宿佐々木金次郎氏及同氏の友人にて上海特別市政府公用局の顧問佐々木廻ラ氏の案內にて同氏專用自動車の利用を受け視察の便を與へらる十三日上海恒產株式會社理事金古久次氏を訪問す喜んで迎へらる同氏に殆ど寸暇なく今日は幸ひ少しの餘裕あり專用自動車にて市內案內することの御好意なりしも辭して午後六時半再會を約す。午後六時半旗亭東語に案內せらる。家屋の內部は全部日本風座敷にて洵に氣持良く、美人揃ひの御酌にて藝妓六十名居らるゝ由大低長崎、熊本邊より抱入候も北海道よりも先頃抱へたる趣き、景氣は午前十時頃から御座敷が掛かり座敷は前日に申込まざれば都合付かぬ由。此日も金古氏なるが故に漸く一座敷を都合せられたるものに(尤も東語月酒家は代表的旗亭にて藝妓の數も三百名內外花柳界の好況は驚く斗り共同租界に入り午後十時以後に至ば淫賣婦の橫行は言語に絕し難く露西亞人もおりも那人もあり一寸も油斷して歩行出來ざる有樣の由に候十四日午前九時三十分南京行急行列車に乘車すべく佐々木氏に案內せられ上海驛に至る車掌區長佐川露氏は植田町出身にて能く鄉里の人を世話せらる、面會し旅車の都合等を數られ便宜を得、午後三時四十五分南京着途中農業は滿洲北支とは全然異なり殆と日本風にて大体水田にて目下旱魃の爲め植付を了せず農家は悲鳴を揚げて居る趣き同乘の軍人の談にて當代の正に枯れんとする個所も見受けられ候。驛より南京ホテルに入り自動車四圓とは驚き目を白黒致し候、旅館の設備等も上海天津邊とは比較にならず暑さは百度以上にて困難を極む、南京には知已も無き爲め十河信二氏の紹介狀を持ち實業部長王子惠閣下を實業部に訪問す。

金の民間保有調查
市から調查員四十五名

來月一日午前零時を期して一齊に行はれる金の民間保有調查に際し平市から調查員四十五名が任命されるので二十三日午後一時から市會議事堂にこれが打合せを行ひ調查の萬全を期する

託鉢獻金

平市佛教同志會では托鉢によつて得た淨財二十八圓七十錢を九品寺住職遠藤光師から市役所を通じ獻金

藤井氏嚴父

平市軍人分會長平商敎官藤井一氏嚴父西白河郡三神村字神田藤井文之助翁は八十歳の高齡で壯者をも凌ぐ元氣であつたが去る十六日長逝した翁は目下北支戰線で活躍してゐる○○部隊長藤井勇大佐の嚴父である

山野邊氏母堂

玉川村岩出山野邊庄吉氏母堂キン媼は十九日午前八時心臟痲痺で死去、行年八十七、葬儀は二十二日午後二時自宅出棺佛式により營む

平市慶弔錄

△出生　紺屋町鈴木郡司氏二男健二君
○婚姻　東京市大森區入新井一丁目岩淵長四郎氏(五三)白銀町三浦はるさん(四一)
▲死亡　中平窪字杉平松本一氏ゝ佐助氏(七七)、中町鈴木新三助氏孫桂子さん(三)、田町木村センさん(六四)

家庭料理　けふの獻立
平保健所榮養指導員　成田君子

竹輪とほうれん草
竹輪七〇瓦一八、七匁
油　五　一、三匁
ほうれん草三〇普通二本
生姜少々
位
計蛋白質一二、一瓦
溫量二〇〇カロリー

[調理法]竹輪は輪切とするか又は一寸位の縱に切り太い織に割る、油を火にかけ、生姜を入れちく輪を炒め、砂糖、醬油で味をつける。ほうれん草は浸しとし付合せる

二十一日(小名濱測候所調べ)
滿潮　前四、二五　後六、三〇
干潮　前一一、四五

新六月二十一日　水曜　舊五月五日　五黃　己丑　危　先負　軫宿

▲一白　己が力を量らず前にのみ進むときは失敗す▲二黑　投機的の事には成るべく手出せぬ樣すべし▲三碧　遠近同仁人を見ること我が身を見る如くせよ▲四綠　自己を信ずること過大なれば失敗を招くべし▲五黃　金運あり武運あり自重せば更に大に用らる▲六白　目上の援へは吉けれど同れうに容れられぬ日▲七赤　出づるにばいしての利得あり何事も進みて吉▲八白　平凡に流るゝとも無事なるを結かうとすべし▲九紫　無二幸運の日文學上の事には取り分け吉し

全國印
アルバムでしたら
全國印アルバムの感覺新鮮な圖案
全國印アルバムの堅牢な裝幀
全國印アルバムの嚴選せられた紙質等を
實物に就いて御覽下さい
只今數十種入荷いたして居ります
氣のきいた御贈答用品として好適です
全國アルバム　全國コーナー
特約店　魁文堂　電話313番

病室・手術室完備
產科婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
(物理療法科併置)　(入院隨時)
平市新川町(電話三六九番)

アイスキャンデー　一錢
アヅキカクテル　個五錢
當店獨特
た幾等にても御屆けいたします
賣子さん募集
五丁目　吉田屋
キャンデー部　電話二二〇番

故障の起らぬ
原口のラヂオ
特典　電灯屋內配線無料　聽取申込料無料　受信機試驗料無料
期間六月一日ヨリ七月卅一日マデ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目(警察署通り)
電話(呼出)166

產婦人科
牛坂醫院
平市田町　電五五九

旅館　大幸館
私は平市出身ですから特に鄉里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄
電話下谷(83)六七七番
東京上野驛前　下谷郵便局橫通角

新車のお知らせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
最新型フォード
入車いたしました。
是非!御試乘の程を!
市內四丁目
スズキタクシー
電二一七番

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電六七四

母キン儀十九日午前八時心臟痲痺にて死去致候間此段御通知申上候
追而葬儀ハ二十二日午後二時自宅出棺佛式ニ依リ相營申可候
昭和十四年六月二十日
石城郡玉川村大字岩出
男　山野邊庄吉